インナー大会プレゼン部門 2016　専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）コマザワ	フリガナ）ケイエイガクブ	フリガナ）カネムラゼミナール
駒澤大学	経営学部	兼村ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）	PPT 動画（有・無）
フリガナ）アメリカンドッグ	フリガナ）イタヤシュウヘイ	5	無
アメリカンドッグ	板谷脩平		

研究テーマ（発表タイトル）
廃線の防止と日本文化の発信

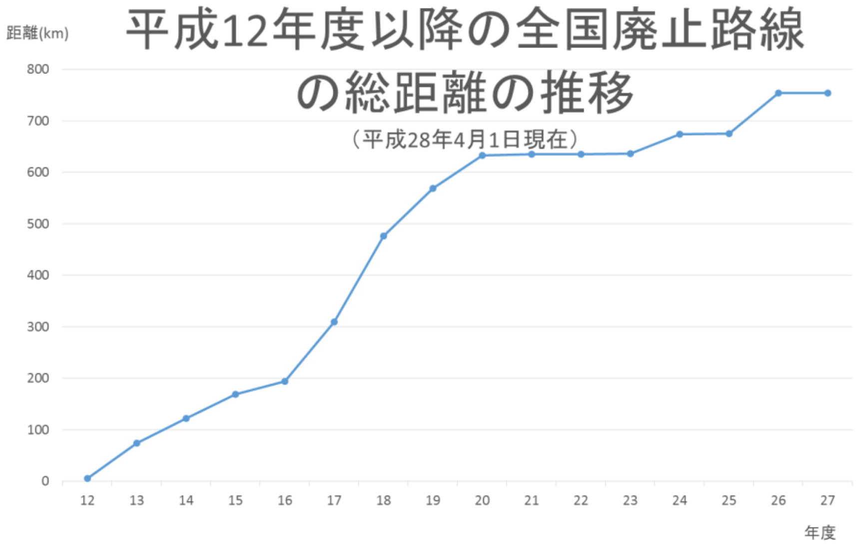
※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

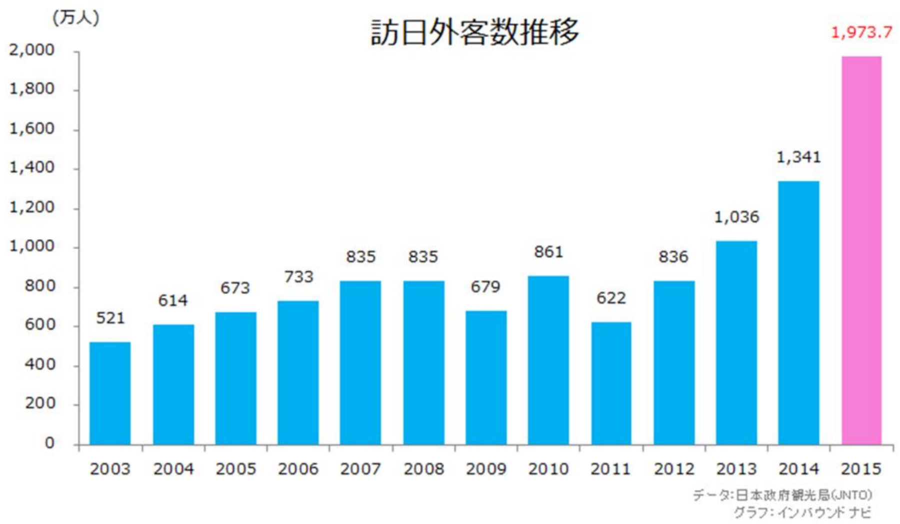
１．研究概要（目的・狙いなど）

現在、廃線が増加している、また廃線危機をむかえている路線も多くある。このような「廃線増加」という問題解決への足掛かり、および現在増え続けている訪日外国人に日本の文化を発信する場を創出する。

２．研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

平成 12 年から平成 27 年までの間に 38 路線・754.4 kmの鉄軌道が廃止されている。さらに現在、廃線の候補となっている路線は 36 本存在している。次に訪日外国人は平成 17 年から平成 27 年の間の 10 年間で約 1,300 万人増加している。そのうち、この 1 年では約 630 万人も増加している。





３．研究テーマの課題

2 にあるように廃線は増加している、しかし鉄道は駅が核となり、町を構成していると考えられる。また鉄道は地域の軸となる。このような軸ができることで通学圏、通勤圏、また商圏なども形成されている。また鉄道は日本全国につながっているため、廃線になると町が閉鎖的になってしまい、そこに住む人は減少する一方である。また高齢化が進んでいる今日の日本では鉄道を利用し病院に通う高齢者が多数いるため、乗客数が減少していても鉄道を残す必要がある。

４．課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

2、3 を踏まえ、ターゲットを現在増え続けている訪日外国人に設定し、廃線防止策を試みる。方法としては廃線の危機をむかえている路線に日本の文化を発信する機能を加え、訪日外国人の乗客数を増加させることで廃線の危機を乗り越える。そこで廃線危機にさらされている路線として私達が着目したのは、三重県を走る伊賀鉄道伊賀線である。伊賀鉄道伊賀線は、2 にあるように、訪日外国人は増加しており、そのうち約 998 万人が関西国際空港を利用し、また約 194 万人が中部国際空港を利用している。そのどちらからも伊賀鉄道伊賀線はアクセスが容易である。さらに伊賀線の終点である上野駅には上野城、忍者に関する展示の観覧や忍者の体験ができる伊賀流忍者博物館があるため、訪日外国人に日本の文化を発信でき、集客性もある。電車内では寿司弁当の配布、外国人に今人気のある折り紙の体験、三重名物赤福の配布、内装は和をイメージして装飾をおこない、外装は伊賀線では既に忍者のペイントがされているためそのまま使用する。またお土産として訪日外国人に人気の高い、食品サンプルを配布する。行きは伊賀神戸で乗車、上野駅で下車してもらい上野城の見学、忍者博物館での見学・体験をおこなってもらい、帰りは上野駅で乗車、伊賀神戸で下車をおこなってもらう。尚、チケット代にこれらの料金を全て含める。

５．研究･活動内容（アンケート調査、商品開発など）

見込み客は関西空港から 273 人、中部国際空港から 53 人と仮定する。またチケット代に諸経費を全て組み込み、3,960 円に設定する。内訳は、運賃は往復で 820 円、寿司弁当・お茶代で 550 円、食品サンプル代は 575 円、忍者博物館入館料は団体料金で 650 円、上野城の入場料は団体料金で 400 円、折り紙代は 20 円、赤福代は 230 円、人件費は 500 円、利益は 5%とし、端数分 7 円を加えて計算した。人件費の計算は、アルバイトを 1 回 5 時間のプランで 4 人雇い、時給を 1000 円とし、それを乗客数 40 人で割る。そうすると年間売上高が 5781 万 6 千円となり、利益が 284 万 7 千円となる。

6．結果や今後の取り組み

このビジネスプランを利用して全国の廃線危機に陥っている鉄道会社への展開を考え、利益を増やしていく。またホームページを作成し多言語化、内容の充実及びアクセスのしやすさの向上をおこない、一般消費者に対する日本の観光、旅行等に関する実用的な情報の適切な提供、また海外の学校の修学旅行、企業の研修・視察旅行等の日本への誘致を目的とした関係者へ情報提供などのプロモーション活動をおこなう。そして海外で個人が直接予約可能にする。

7．参考文献

主要な参考文献は以下のとおりです。

忍者博物館：http://www.iganinja.jp/

廃線数：http://www.mlit.go.jp/common/001136976.pdf

訪日客増加：https://www.google.co.jp/search

全国の訪日客：http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/in_out.html

空港別外国人旅客数：http://flyteam.jp/news/article/60940

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

＜企画シート作成上の注意＞

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。